

# ■堺市公園施設維持管理(長寿命化)計画策定について

## ■背景

本市は、1176公園を管理しており、開設から30年を超える公園が558公園47%を占め、公園施設の高齢化が進行している。また、全国的にも公園施設の老朽化に伴う管理瑕疵事故や施設の使用禁止が多発している。本市においても、厳しい財政状況の中、今後、急速に高齢化を迎える公園施設に対して、公園利用者の安全・安心を確保するため、アセットマネジメントの考え方を取り入れた公園施設の維持管理計画策定が急務となっている。そこで、効率的・効果的に維持管理するため、平成30年度に新たに公園施設全体の維持管理計画策定に着手する。

## ■公園施設の現状と課題

### 【施設の現状】

- >公園数 1,176箇所 562.04ha (平成29年4月1日現在)
- >主な施設
  - 遊具 約2,500箇所 パーゴラ・東屋・藤棚 約670棟 トイレ 約100箇所
  - 照明灯 約3200基 舗装 約830,000m<sup>2</sup> 橋梁 43橋 ほか
- >遊具の大半は小規模公園(街区公園)に存在しており、大規模公園(近隣公園以上)にはパーゴラなどコストの高い施設が多い。

### 【課題】

- >遊具の約7割が、耐用年数15年を超過。
- >施設台帳の整備、公園施設の種類・数量・設置年度など公園基礎データの整理ができていない。施設が老朽化してきており、今後集中して更新していく必要があるが再整備の方針はない。

## ■計画の位置づけ

堺市緑の基本計画 ※パークマネジメントの基本的な方針 ほか

パークマネジメント計画 ※維持管理の基本的な方針 ほか

### 公園施設の維持管理計画(1,176公園)

#### 【計画内容】

- ・公園施設台帳の整備
- ・公園施設の健全度調査、健全度判定
- ・公園施設の長寿命化対策の検討  
(予防保全型管理と事後保全型管理の分類)
- ・公園施設の長寿命化対策の効果
- ・年次計画の策定

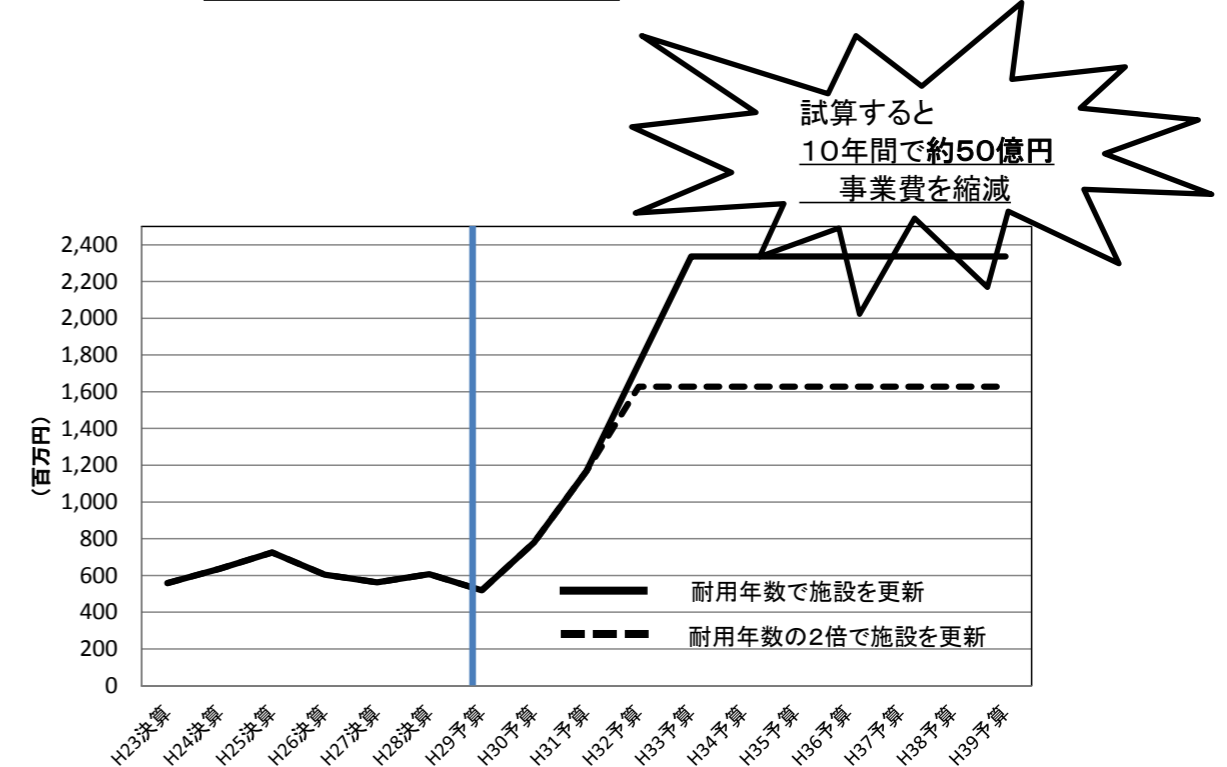
うち、公園面積2ha以上の38公園は、国の交付金を活用し平成29年度、30年度の2カ年で公園施設長寿命化計画を策定

## ■計画の効果(試算)

市民が安心して使える公園施設を維持するために、公園施設を耐用年数で更新すると今後10年間で約200億円維持管理費用が必要となる。(実線)



そこで、公園施設を定期的に点検し、こまめに修繕を繰り返すことで耐用年数の2倍まで利用すると考えた場合、今後10年間で約150億円維持管理費用が必要となる。(破線)



注：事業費、縮減額は、あくまでもイメージです。  
(事業費は、各施設の平均的な更新費を積み上げ。計画策定時に更新費等を精査。)平成30年度に計画を策定し、事業費等を確定していく。

## ■今後の方針

- >専門業者による定期的な健全度調査を実施していく(1回/5年のサイクル)。
- >健全度調査に基づき適正に維持管理することで、施設の長寿命化を図る。
- >効果(縮減)額が決定するのは、健全度調査が一巡する5年後となる。
- >費用縮減のため、老朽化した施設は、更新だけでなく廃止することも検討する。更新の際は、ライフサイクルコストを考慮する。(ただし、各公園の特徴を配慮する。)
- >公園面積2ha以上の公園施設を更新する際は、積極的に国の交付金を活用する。
- >平成30年度、委託により公園施設維持管理計画を策定し、平成31年度より計画的に事業を実施していく。